

# 令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校（保健体育）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は4問3ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校 保健体育

1 中学校学習指導要領解説「保健体育編」について、(1)～(4)に答えよ。

(1) 次は、「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成」についての一部である。下の①～③に答えよ。

(1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の A 主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他の課題を発見し、その ( a ) な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう ( b ) すること。

(2) 授業時数の配当については、次のとおり扱うこと。  
 ア 保健分野の授業時数は、3学年間で ( c ) 単位時間程度配当すること。  
 イ 保健分野の授業時数は、3学年間を通じて適切に配当し、各学年において効果的な学習が行われるよう考慮して配当すること。  
 ウ 体育分野の授業時数は、各学年にわたって適切に配当すること。その際、体育分野の内容の「A体づくり運動」については、各学年で ( d ) 単位時間以上を、「H ( e )」については、各学年で3単位時間以上を配当すること。  
 エ 体育分野の内容の「B ( f )」から「Gダンス」までの領域の授業時数は、それらの内容の習熟を図ることができるよう考慮して配当すること。

(3) B 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた ( g ) や指導方法の工夫を計画的、( h ) に行うこと。

① a～hにあてはまることばと数字を、それぞれ記せ。

② 下線部Aについて、次の文のiにあてはまる三つのことばを記せ。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに当たり、特に「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を、( i ) という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要である。

③ 下線部Bについて、次の文のiiにあてはまることばを記せ。なお、iiには同じことばが入るものとする。

特に、保健体育科においては、実技を伴うことから、全ての生徒に対する健康・安全の確保に細心の ( ii ) が必要である。そのため、生徒の障害に起因する困難さに応じて、複数教員による指導や個別指導を行うなどの ( ii ) をすることが大切である。

- (2) 次は、「〔保健分野〕2 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防」の一部である。下の①～③に答えよ。

(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(ア) 健康は、主体と ( a ) の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と ( a ) の要因が関わり合って ( b ) すること。

(イ) 健康の保持増進には、( c )、生活環境等に応じた運動、A 食事、休養及び睡眠の ( d ) のとれた生活を続ける必要があること。

(ウ) 生活習慣病などは、( e )、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の ( f ) が主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の ( d ) のとれた生活を実践することによって予防できること。

- ① a～fにあてはまることばを、それぞれ記せ。なお、同じアルファベットには同じことばが入るものとする。
- ② 上記の(ア)と(ウ)を取り扱う学年を、それぞれ記せ。
- ③ 下線部Aについて、「保健体育編」には、次のような記述がある。iとiiにあてはまることばを、それぞれ記せ。

食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費された ( i ) を補給する役割があることを理解できるようにする。また、健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事をすること、年齢や運動量等に応じて栄養素の ( ii ) や食事の量などに配慮することが必要であることを理解できるようにする。

- (3) 次は、「G ダンス [第3学年] (1) 知識及び技能」である。a～eにあてはまることばを、下の①～⑩からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

(1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで ( a ) に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、( b ) の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。

ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急 ( c ) のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。

イ フォークダンスでは、日本の民踊<sup>よ</sup>や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的な ( d ) や動きと組み方で踊ること。

ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化と ( e ) を付けて、リズムに乗って全身で踊ること。

- |        |            |        |       |
|--------|------------|--------|-------|
| ① 一斉   | ② 仲間の観察    | ③ ステップ | ④ ビート |
| ⑤ 高低   | ⑥ まとまり     | ⑦ 自由   | ⑧ 強弱  |
| ⑨ 運動観察 | ⑩ シンクペーション |        |       |

- (4) 次は、「A 体づくり運動 [第1学年及び第2学年] (3) 学びに向かう力, 人間性等」である。a～cにあてはまることばを, それぞれ記せ。

(3) 体づくり運動に ( a ) に取り組むとともに, 仲間の学習を援助しようとする事, 一人一人の ( b ) に応じた動きなどを認めようとする事, 話合いに ( c ) しようとする事などや, 健康・安全に気を配る事。

**2** 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) マット運動において, 倒立前転は何系の技か, 記せ。
- (2) 相撲において, 安全上の配慮から中学生以下で禁止されている技を一つ, 記せ。
- (3) サッカーにおいて, 自陣のペナルティエリア内で, 直接フリーキックに相当する反則を行ったときに, 相手チームに与えられるプレースキックを何というか, 記せ。

**3** 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 球技「バレーボール」の学習では, 空いた場所への攻撃を中心とした「ラリーの継続」についての学習課題を追究しやすいように, 工夫したゲームを取り入れることが大切である。その工夫したゲームを二つ, 記せ。
- (2) 水泳「平泳ぎ」の学習で, 「呼吸法を身に付けさせる」ための練習方法を二つ, 記せ。
- (3) 保健の学習において, 生徒の資質・能力の育成に向けた効果的なICT機器の活用例を二つ, 記せ。

**4** 次の(1)～(4)について, それぞれ簡潔に説明せよ。

- (1) ヘルスプロモーション
- (2) 身体環境に対する適応能力
- (3) ピッチとストライド
- (4) 予防接種

### 中学校保健体育 解答例

<b>1</b>	(1)	①	a	合理的	b	留意	各2点		
			c	48	d	7			
			e	体育理論	f	器械運動			
			g	指導内容	h	組織的			
		②	i	習得 ・ 活用 ・ 探究	各2点				
		③	ii	配慮	2点				
	(2)	①	a	環境	b	発生	各2点		
			c	年齢	d	調和			
			e	運動不足	f	乱れ			
		②	(ア)	第1学年	(イ)	第2学年	各3点		
		③	i	エネルギー	ii	バランス	各4点		
	(3)	a	⑦	b	⑨	c	⑧	各2点	
		d	③	e	⑥				
	(4)	a	積極的			b	違い		各2点
		c	参加						

裏面に続く

2	(1)	回転系	(2)	反り技・河津掛け・さば折り ・かんぬき（極め出し，極め倒し）	各2点
	(3)	ペナルティキック（ペナルティーキック・PKも可）			
3	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットをはさんで，少ない人数から徐々に人数を増やしていくゲーム（プレイヤーの人数）</li> <li>・ 小さいコートから大きいコートに広げていくゲーム（コートの広さ）</li> <li>・ やわらかいボールを使ったり，ネットの高さを低くしたゲーム（用具）</li> <li>・ ワンバウンドやワンキャッチを取り入れたゲーム（プレイ上の制限）</li> <li>・ パスを出す仲間やパスを受ける仲間の名前を呼びながら行うゲーム（声の掛け合い）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>			各4点 (各2点×2)
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビート板を使って，両手で水を押さえながら，その反動を利用して顎を前に出し，顔を上げる練習。</li> <li>・ プル動作を行わずに，ストリームライン姿勢を保ちながらキックし，足を引き付けるタイミングで顔を上げ息を吸う練習。（両腕は水を押さえるつもりで）</li> <li>・ 顔を水面につけ息を吐き，歩きながら顔を水面上に上げすぎないように息を吐く練習。</li> <li>・ 浮きながら両手で水を押して浮上し，水上に出たら「パッ」と息を吐く練習。</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>			
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の ICT 端末で前時を振り返ったり，本日のめあてを確認し，授業の見通しをもたせること。</li> <li>・ 本時の授業の学習状況をアンケート機能を使い集計し，リアルタイムで本時を振りかえること。</li> <li>・ 実習の様子を撮影し，個のつまずきの把握とつまずきに応じた指導・支援に役立たせること。</li> <li>・ グループ等で情報を共有したり，自分の考えをグループの仲間に伝えること。</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>			
4	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康的な生活を送るためには，<u>個人の努力</u>とそれを支援するための<u>社会的な取り組み</u>の両方が必要であるという考え方のこと。</li> </ul>			各4点
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体には，<u>環境の変化に対応した調節機能</u>があり，<u>一定の範囲内で環境の変化に適応する能力</u>のこと。</li> </ul>			
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ピッチは，一定時間の歩数のこと。</u> <u>ストライドは，1歩の歩幅のこと。</u></li> <li>・ 自分に合った大きなストライドで，ピッチを高くすれば，走るスピードは速くなること。</li> <li>・ ピッチとストライドは，どちらか一方を意識的に高めようとすると，もう一方が低下してしまう関係性があること。</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>			
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症の原因となる病原体に対する免疫ができる体の仕組みを使って，<u>病気に対する免疫</u>をつけたり，<u>免疫を強くしたりするために，ワクチンを接種</u>すること。</li> </ul>			